

【要約版】

令和6年度 第1回高島市図書館協議会

開催日時：令和6年5月29日（水）15時～16時30分

開催会場：高島市立今津図書館 視聴覚室

出席：國松会長、平松副会長、山本（恵）委員、福原委員、吉川委員、梅村委員、田川委員、井上委員、山本（永）委員、菅井委員、本村委員

事務局：饗庭教育総務部長、中川教育総務次長兼図書館長、志村主監、原田

1. 饗庭教育総務部長 あいさつ

- ・図書館の職員体制については、さらなるサービスの向上にむけ、来年度4月採用の司書を募集している。
- ・今年度は、高島市子ども読書活動推進計画第3次計画の最終年度にあたる。来年度からの第4次計画の策定に向けて、本協議会からの委員を選出している。ご協力をお願いしたい。
- ・今年度から、学校図書館司書を2名配置し、北地域10校と南地域9校を分担していただいている。公共図書館も学校図書館司書との連携をしっかりとっていくことを考えている。

2. 國松会長 あいさつ

- ・県内の動きとして、県内の公共図書館が、学校図書館や地域の子どもの向けに行う活動をサポートする部署を、県立図書館内に今年度から立ち上げた。
- ・子ども図書館とは別に、今年度、直接学校などでの子どもの読書振興のために県が事業を行うと聞き及んでいる。詳しい情報が入り次第、皆さんにお伝えしたい。
- ・新聞などでも取り上げられていたが、地域の書店が次々廃業している問題。これは国を挙げて取り組む問題であるとして、解消に乗り出した。滋賀県にゆかりのある直木賞作家の今村翔吾氏が東京神田で、書店をひらくなど各方面での動きもあり、図書館と地元の書店が、読書振興のために連携した動きがこれから出てくるかもしれない。
- ・昨年5月にコロナが5類に移行した。図書館の活動が、令和元年くらいに戻りつつある。ただ、子どもたちの来館が戻ってきていない。どのような対策をするのかが、各自治体の図書館振興、拡大にかかわってくるかなと思っている。
- ・館長も代われ、この協議会でも高島市の図書館が少しでも良くなるような意見、提言をしたい。委員の皆さんの活発なご意見をお願いしたい。

（次ページへ）

3.協議事項：

*以下、協議事項内容と質疑応答等。(○=報告内容 ●=委員意見 ⇒回答)

(1) 令和6年度図書館の運営等について

○令和6年度図書館運営方針(資料1ページ)

令和5年度からの変更点は2か所。

2.より多くの市民の利用促進 の “対象を高齢者など” → “高齢者や外国人”。

3.子どもと本とをつなぐ読書活動の推進 に、“学校図書館司書”との連携を図るを追加。

○令和6年度図書当初予算図書館事業の概要について(資料2ページ～)

当初予算は、昨年度より8,233,000円増額。

図書館施設維持補修事業：安曇川図書館屋根外壁修理費用。

図書館資料整備事業：550,000円増額。(図書装備費用)。

●運営方針の5番目運営体制について。本日の部長あいさつに司書を募集という発言があったが、職員数が増えるということか？

⇒ 令和7年度4月から1名司書の増員のため募集をかけている。

●年々増やしていった、体制を強化していくという方向か？

⇒ できれば定期的に募集したい。何年ごとになるかはわからないが、そういう思いでいる。

●この募集は、正規職員の司書ということか？

⇒ そうです。

●運営方針の3に学校図書館司書との連携がうたわれているが、今年度から学校司書が2名、配置されたと聞いている。現状はどうか？

⇒ (関係委員から回答)

4月採用の2名で、高島市を南部と北部に分かれて担当。北部はマキノ、今津、朽木の小中学校10校。南部は高島、安曇川、新旭の9校。平日3時間の勤務。高島市で初めての学校司書なので、前任者はいない。

実態調査から始めている。学校を巡回し、図書室に入って、現状の把握しているという状況。各学校の状況は、千差万別。例えば、4年生の国語の中で、図書の分類についての勉強がある。図書室でそのような授業をできる学校もあれば、棚の整理もおぼつかない学校がある。図書室に鍵をかけているところもあれば、いつでもだれでも入れる学校もある。まだ2ヵ月なので手探り状態。

○令和5年度の図書館事業報告について(資料4ページ～)

高島市全体で、貸出冊数：前年度比8.1%増。貸出延べ人数：前年度比7.6%増。

- 6ページの障害者サービスや多文化サービスについて、具体的に行っていることは？
⇒ 障害者施設より、グループで図書館に来館され、利用（貸出、閲覧）されている。デイジーの機械は今津図書館所蔵しているが、利用がない。
⇒ 就労で外国籍の方が、当市にも多数お住まいになっている。職場単位でカード登録に来られる場合もある。コロナ前は、音訳ボランティアグループが今津図書館の編集室で“声の広報”を録音編集されていたが、今は個々の自宅等で作業をされており、編集室は使われていない。
- 高島市でも、実施外国の子どもたちが言葉で、非常に悩んでいる様子が見られる。一瞬でも子どもたちが楽しめるような本があったらいいと思う。
- どの言語を話される方が、高島市は多いのか？
⇒ ベトナムの方が255人、韓国の方180人、インドネシアの方70人、中国の方70人、ミャンマーの方44人。学校を調べたところ、10人程在学で、言語はまちまちと聞いている。
- 湖南地域では、ベトナム語を話される方が急に増えてきているが、ベトナム語などの図書はなかなか通常のルートでは購入できないらしい。母語で書かれた日本語についての本なんかがあると、敬語などを上手に話せる助けになるのでは？ただ、資料として、揃えるのは難しいと思うが。
- 学校現場では、ベトナム語を話しお子さんに教えるのが非常に難しい。翻訳ソフトを横において。資格（教員免許？）があって教えに来られる人もないので、学生さんをお願いして、間にパソコンを置いて、少しでも会話がスムーズにいくような努力をされている。本までもいかない。日常会話が難しい。
- 音訳ボランティアが録音した、市の広報誌や議会だよりは、毎回たくさんダビングをするが、市内の必要とされている方々全員にいきわたっていない。図書館にも置いているが、そのPRがやはり足りない。点字の広報もあるが、利用されているようには見受けられない。そういうものが図書館に置かれているというPRをしていくべき。関わっている団体もPRしていかないといけないが。
⇒ 現時点で、PRできていない。市の担当部局から、視覚障害の方に説明する際、図書館でもできるサービスについて伝えてもらうということができるかもしれない。他自治体では、視覚障害の方に図書館が行っているサービスについて、眼科を受診された際に、医師から伝えてもらっているという事例を見た。色々工夫ができると思う。

(次のページへ)

(続き)

⇒ (会長からの回答)

点字の電子変換について。実際、点字を読める方の比率は今、ものすごく低い。中途失明の方でない場合は、比較的パソコンを使って点字を読むことに慣れておられる。大学生になると印刷されている本を直接スキャンしてもらって、いきなりパソコンに取り込み、授業で使うということに慣れている。

中途失明の方々に、図書館がどういう形で情報を提供するの。市の全部の関係部署と連携してやっていかないといけないのではと思う。

- 障害者差別解消法や読書バリアフリー法は、「できればやってください」ではなく、「必ずしなければならない」ということになっている。今、日本の図書館で100%できているというところは1館もない。通常業務ですら大変なのに、さらにやらなければならないことが増えている。人手がないからできないでは、済まなくなっている。勉強してください。

- 本の森事業は、市内全部の学校、園が対象ということではないのか？

⇒希望される所になる。学校からの社会見学は、この数には含まれない。

○令和6年3月議会 図書館関連質問答弁内容について (資料11ページ～)

1から5の議員からの質問(資料参照)に対して、教育長が答弁。

※資料添付で、いいですか？

- 最終的には「色々調査研究をしてまいりたい」ということで前向きに取り組んでいきますということはわかる。具体的には、どのように調査研究をしていくのか？

⇒現時点では、具体的にお示しできるものがまだない状態。他自治体事例を調べ、会長が、こういったことに造形が深く、かかわっておられますので、ぜひ協議会の委員の皆さまにご協力をお願いしたい。

- 再質問で、「今後も引き続き、広報紙やホームページ、SNSなどあらゆる媒体を活用しながら積極的にPRを進めてまいりたい」と。昨年度の協議会でSNSで発信してはどうか？と提案したがその後はどうなっているのか？

⇒SNSについては、今年度、異動してきた職員が元の部署で担当していたとのこと。なんとか、実現できる方向で考えている。

- 情報発信について。情報を出す前に上司などの許可を取る必要がある。それだと情報

としては古い。一番のネック。もっと簡単にどんどん新しい情報発信をしていかないと。勇み足はいけないが、当たり障りのない情報ではあまり受け手側も満足できないのでは？

- 教育長が、3点目の質問「長期的な目標を示す計画を策定すること」について、「具体的な調査研究をしてまいりたい」という前向きな答弁をされているので、一度、図書館の基本計画、サービス計画というのがどういったものなのかの勉強会を、協議会と図書館とでやりたい。県内19の自治体の半分くらいは、すでに図書館基本計画、サービス計画を作っている状態。協議会としては、10年以上前に答申も提言も出しているから、本来は、図書館にやらしてもらえばいいが、なかなか難しいと思うので。具体的なスケジュールくらいを、今年度に出せないかと思うが、どうか？

⇒図書館だけでは、そういった計画を作ることはできないので、ぜひご協力いただきたい。日程等調整し、委員の皆さんにご連絡させていただきたい。